

異常気象の未来予測 —どうなる東京？ どうする都民！—

立花義裕 e-mail tachi@bio.mie-u.ac.jp

三重大学大学院 生物資源学研究科
気象・気候ダイナミクス研究室 教授



ファイルは研究室のweb pageに。2日以内に消す

検索 三重大 気象学

温室効果ガス増加に伴う地球温暖化は全世界が「公平」に温度が上がる現象と思う人も多いただろう。それは違う。ここ数年続く猛暑や異常気象は、日本が世界で一番といっても過言ではない。そして2025年もダントツで一番異常。日本に住む我々こそ異常気象に敏感であるべきなのだ。だからこそ脱炭素では、日本は世界のリーダーシップを取らねばならない。温暖化はなぜ日本を狙い撃つのか？2025年の夏の暑さの原因を理解すれば、未来の日本の気候もみえる。気候危機は人類の最大の危機だが、無関心層が多数の方がよっぽど危機だ。

2026年2月9日@東京都住宅政策本部



「現代用語の基礎知識」選 T&D保険グループ 新語・流行語大賞



異常気象の 未来予測

立花義裕 三重大学 大学院
生物資源学研究科 教授

発売から
**続々
重版!!**

冬と夏の二季になる

食料の価格高騰

日本が世界一の豪雪地帯

寒暖差の激しい冬の到来

豪雨、豪雪、山火事... 自然災害の頻発

冬は暖冬×記録的な大雪、夏は40度越えの極暑×豪雨。極端な世界でどう生きるか

た-14
立花義裕

異常気象の未来予測

ポプラ新書
274

2025年新書ランキング

- 1 異常気象の未来予測
立花義裕 / ポプラ社
- 2 生きる言葉
俵万智 / 新潮社
- 3 ユダヤ人の歴史
鶴見 太郎 / 中央公論新社
- 4 知って得する、すごい法測 77
清水 克彦 / 中央公論新社
- 5 独断と偏見
二宮 和也 / 集英社
- 6 世界秩序が変わるとき
齋藤 ジン / 文藝春秋
- 7 絶対「謝らない人」
榎本 博明 / 詩想社
- 8 続・日本軍兵士
吉田 裕 / 中央公論新社
- 9 動的平衡は利他に通じる
福岡 伸一 / 朝日新聞出版
- 10 「話が面白い人」は何をどう読んで
いるのか
宅 香帆 / 新潮社

津駅：別所書店

(Amazon予約サイト)



一般向けの新刊本
(2025年7月発売)。
「異常気象の未来予測」立花義裕
ポプラ社 ポプラ新書
1012円(税込み)

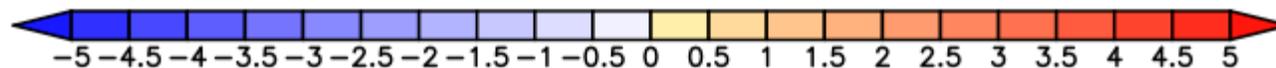
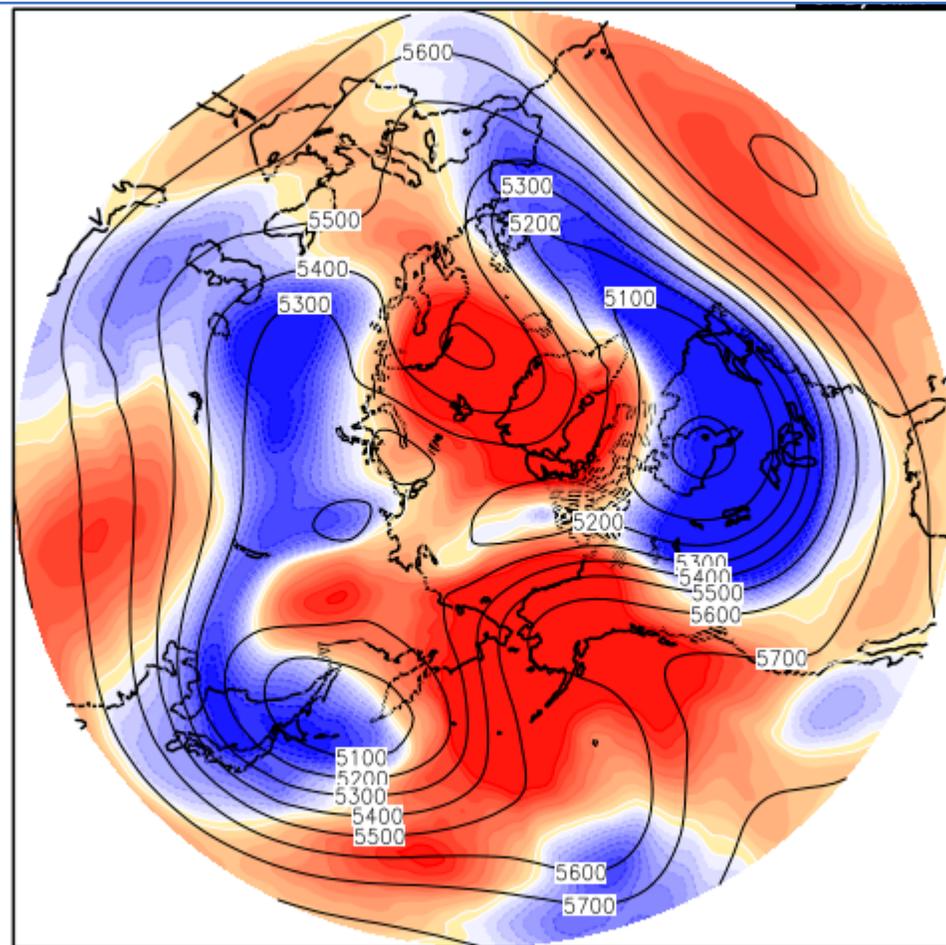
本書は、建物や窓の
断熱にも言及してい
ます。

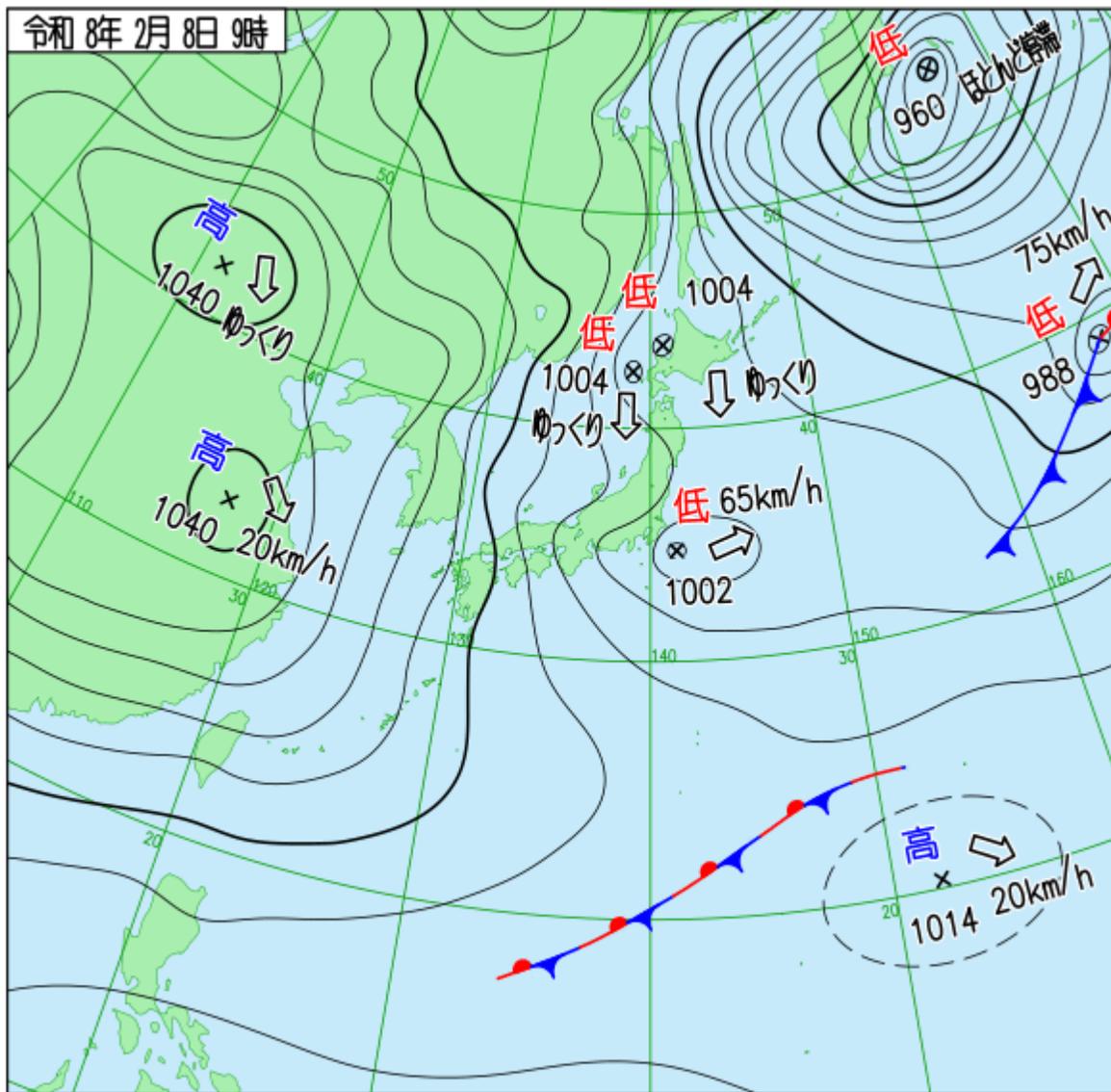
本をお持ちいただければ
講演後にサインします

自己紹介？

- ❁ 気象が好きになったきっかけは、2年毎に転校した引っ越し。雪の少ない地域から豪雪地帯へ移ったとき、同じ日本なのに場所によって気象・気候・文化が違うことに驚愕し、気象にのめり込んだ。転勤族だった父親に感謝している。
- ❁ 札幌南高校卒業。理学博士。ワシントン大学などを経て、2008年より現職。専門は気象学、気候力学、異常気象。自由な校風でユニークな先生達と級友と出会った高校時代と、小学校の恩師の独特な授業との出会いが、研究を自由に楽しみ、わかりやすく伝えるスタイルの土台。
- ❁ 「羽鳥慎一モーニングショー」を始め、ニュース番組に多数出演。2025年新語・流行語大賞トップテン受賞。2024年第56回東海テレビ文化賞受賞。定期的に出演する三重テレビの番組「Mieライブ」は、番組YouTubeで見ることができる。日本気象学会理事、日本雪氷学学会理事

2026年1月20日－2026年1月24日 (T500, Z500)

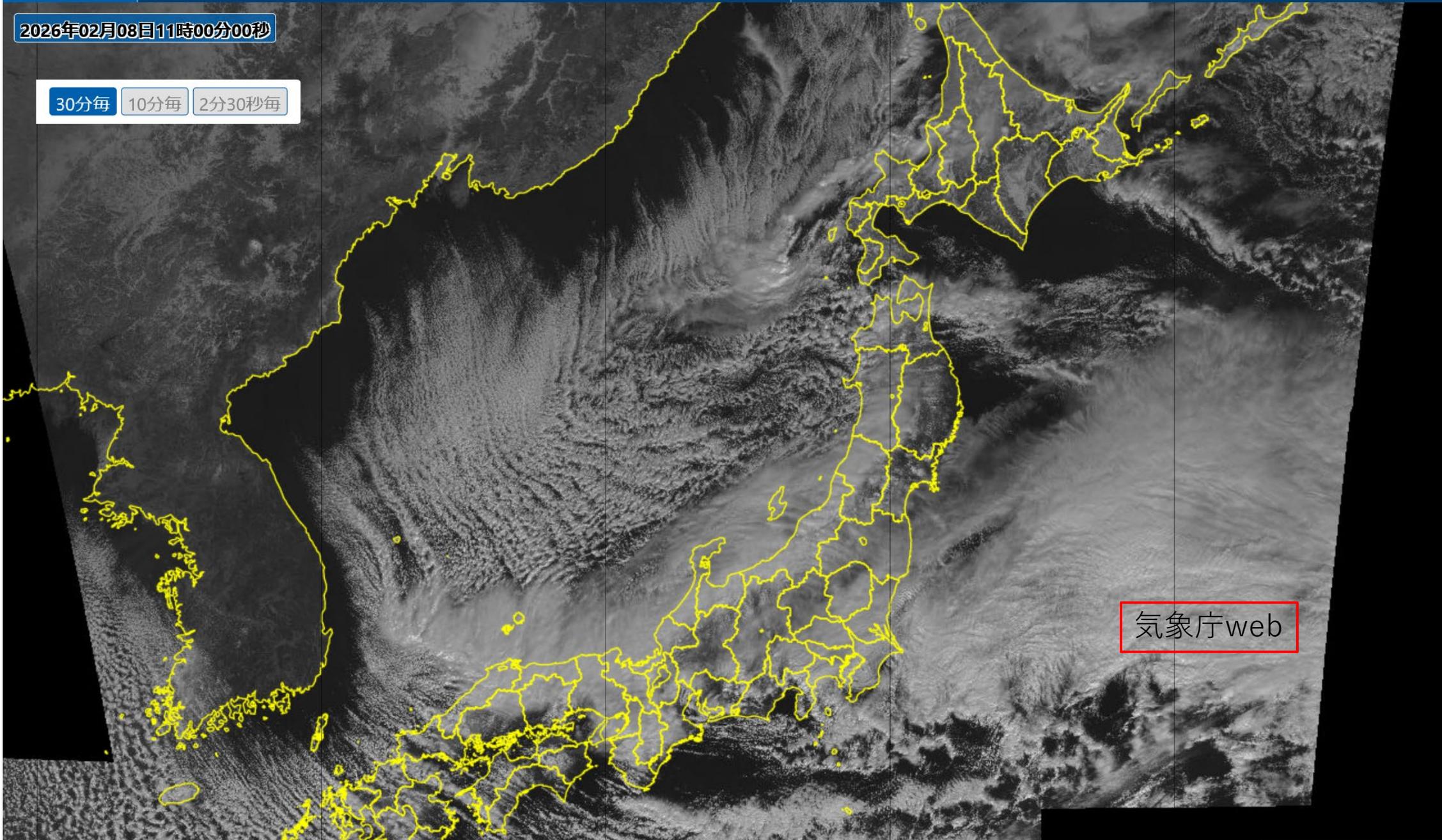




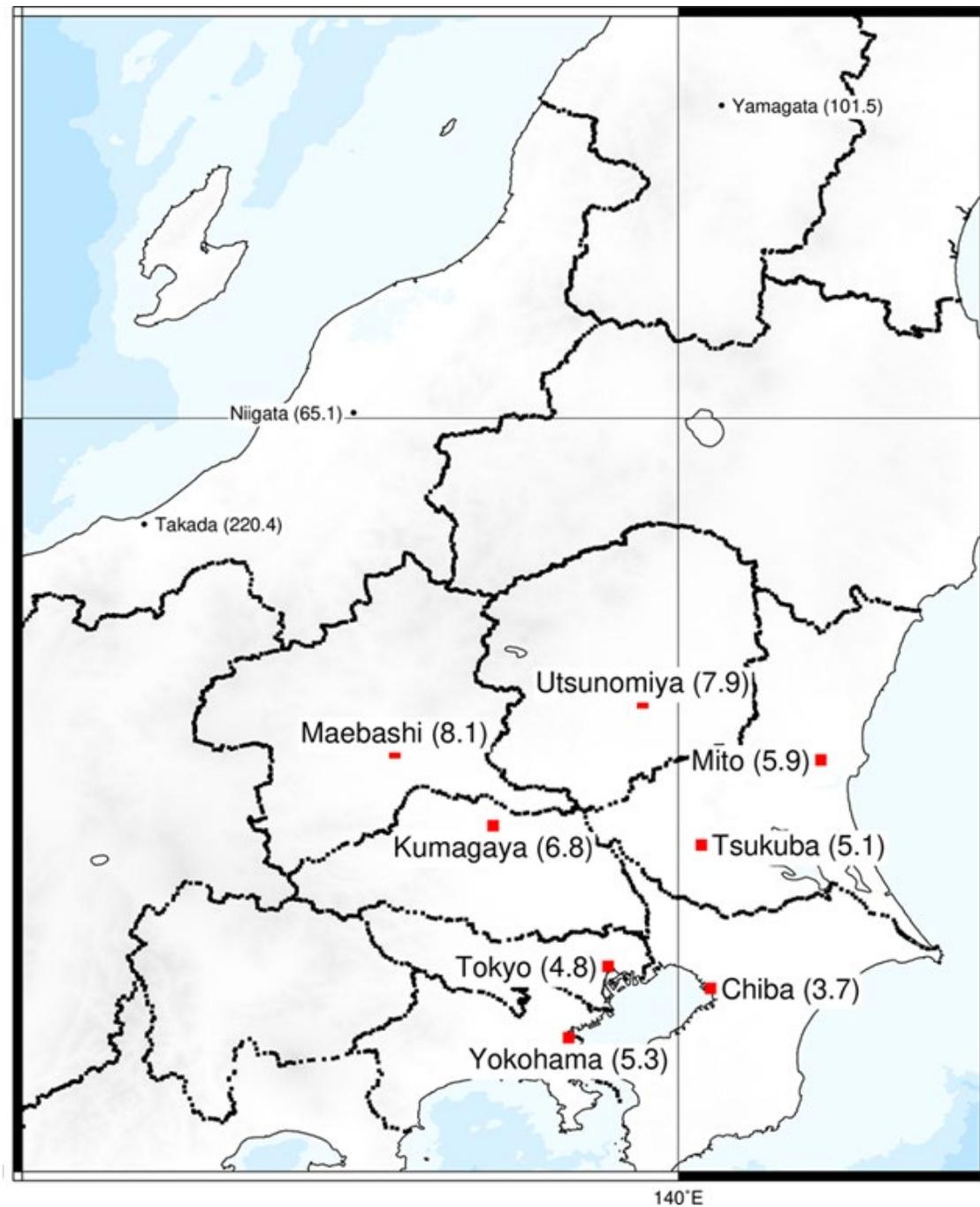
気象庁web

2026年02月08日11時00分00秒

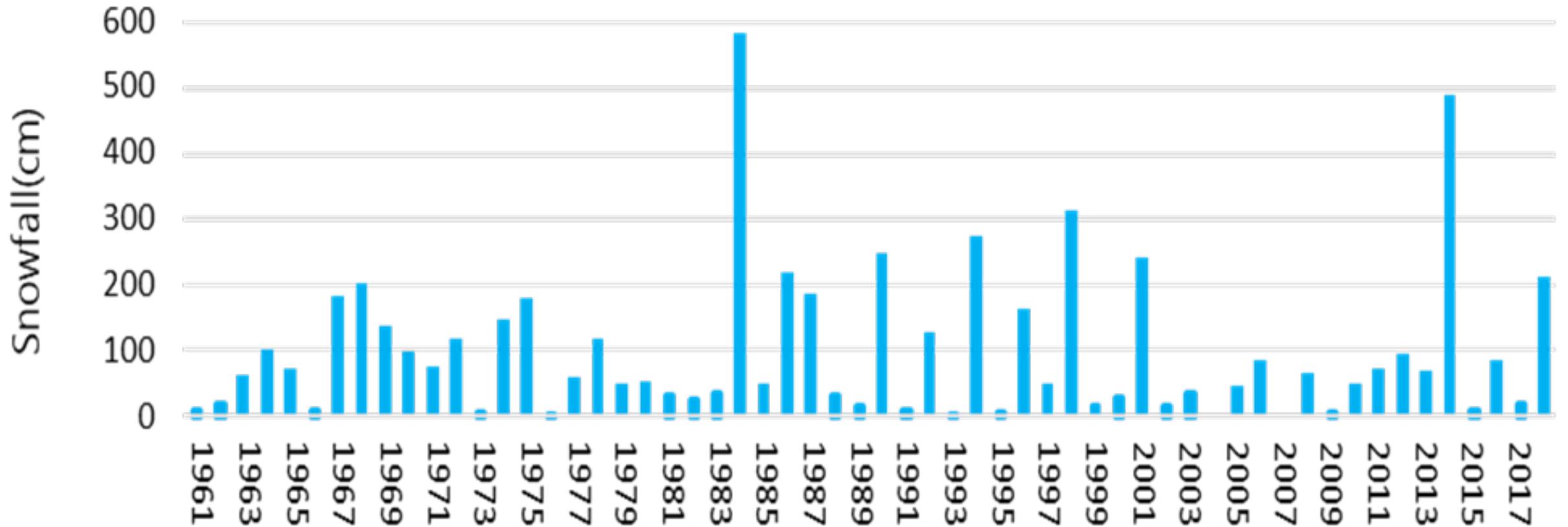
30分毎 10分毎 2分30秒毎



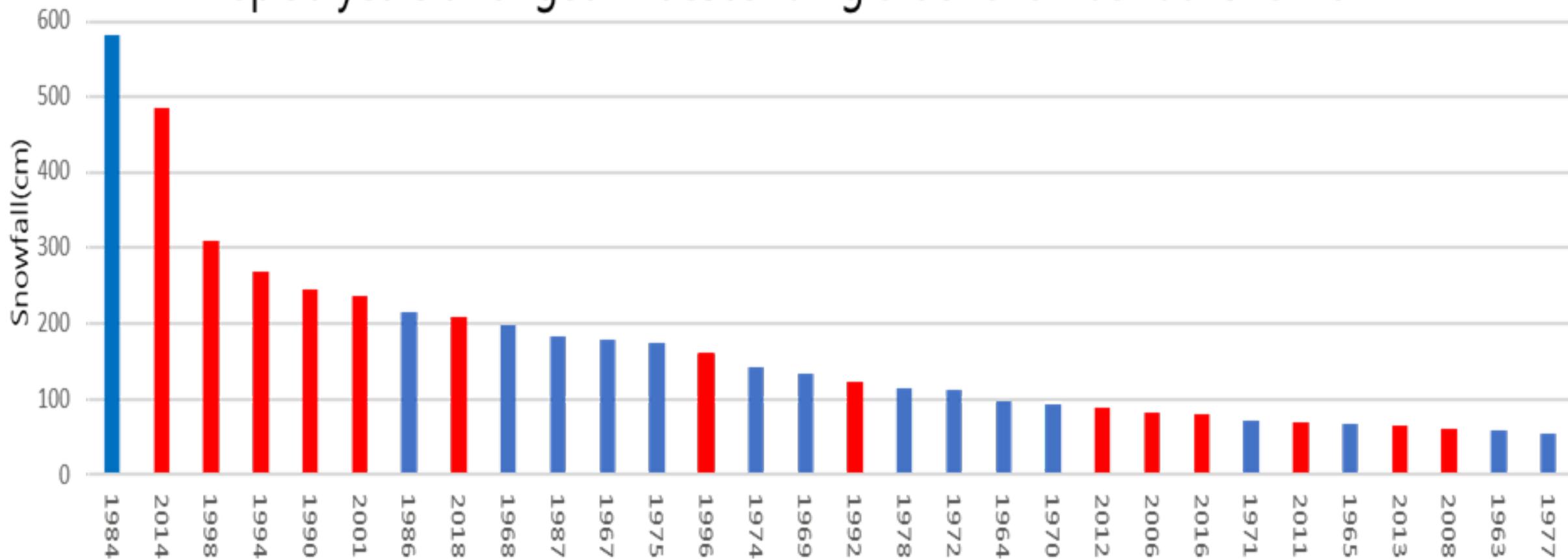
気象庁web



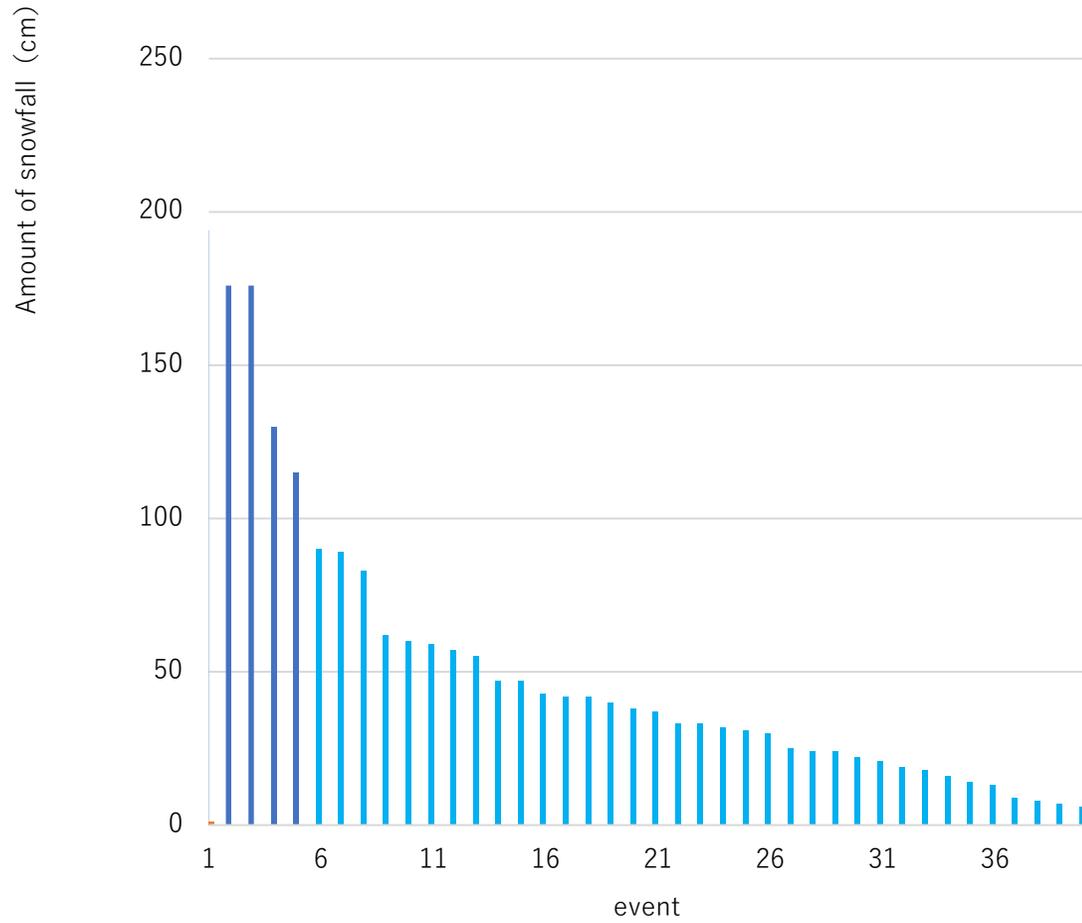
The total amount of snowfall in Kanto Region



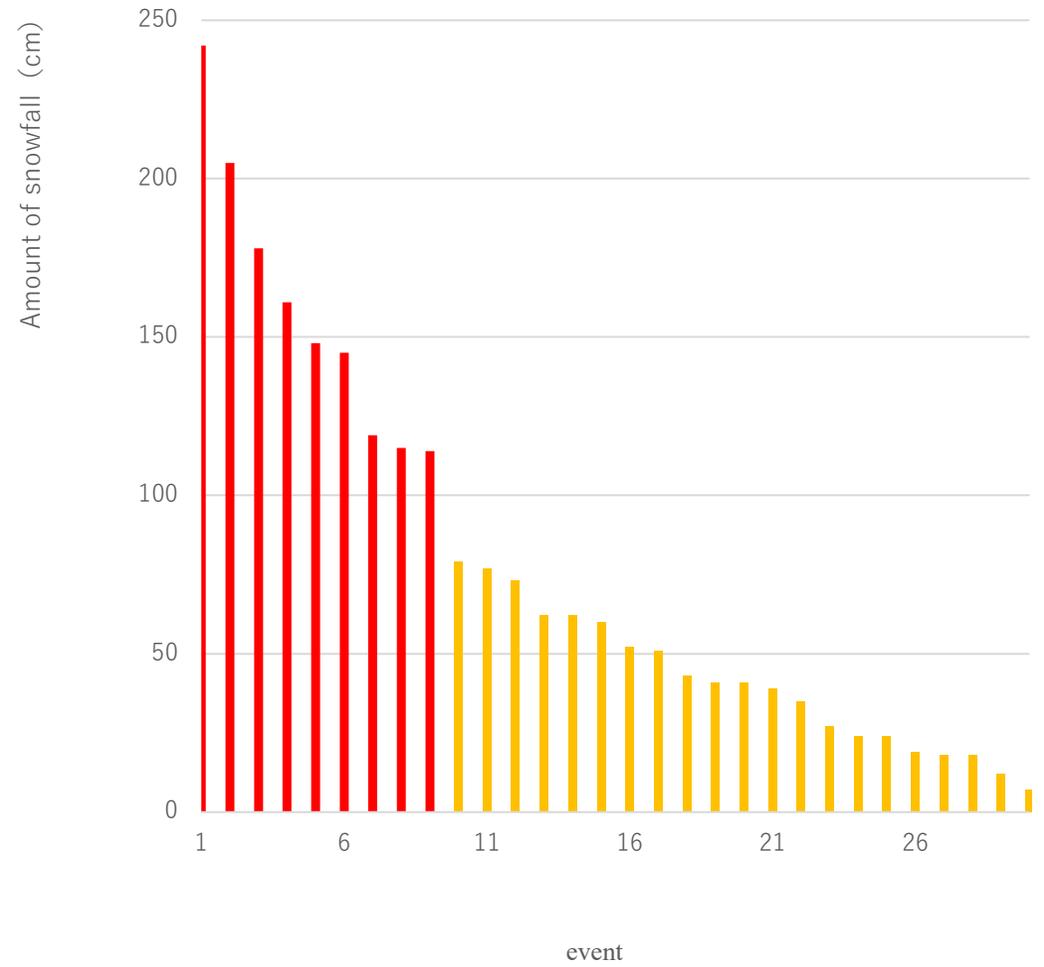
Top 30 years arranged in descending order of amount of snowfall



Snowfall event (before 1988)

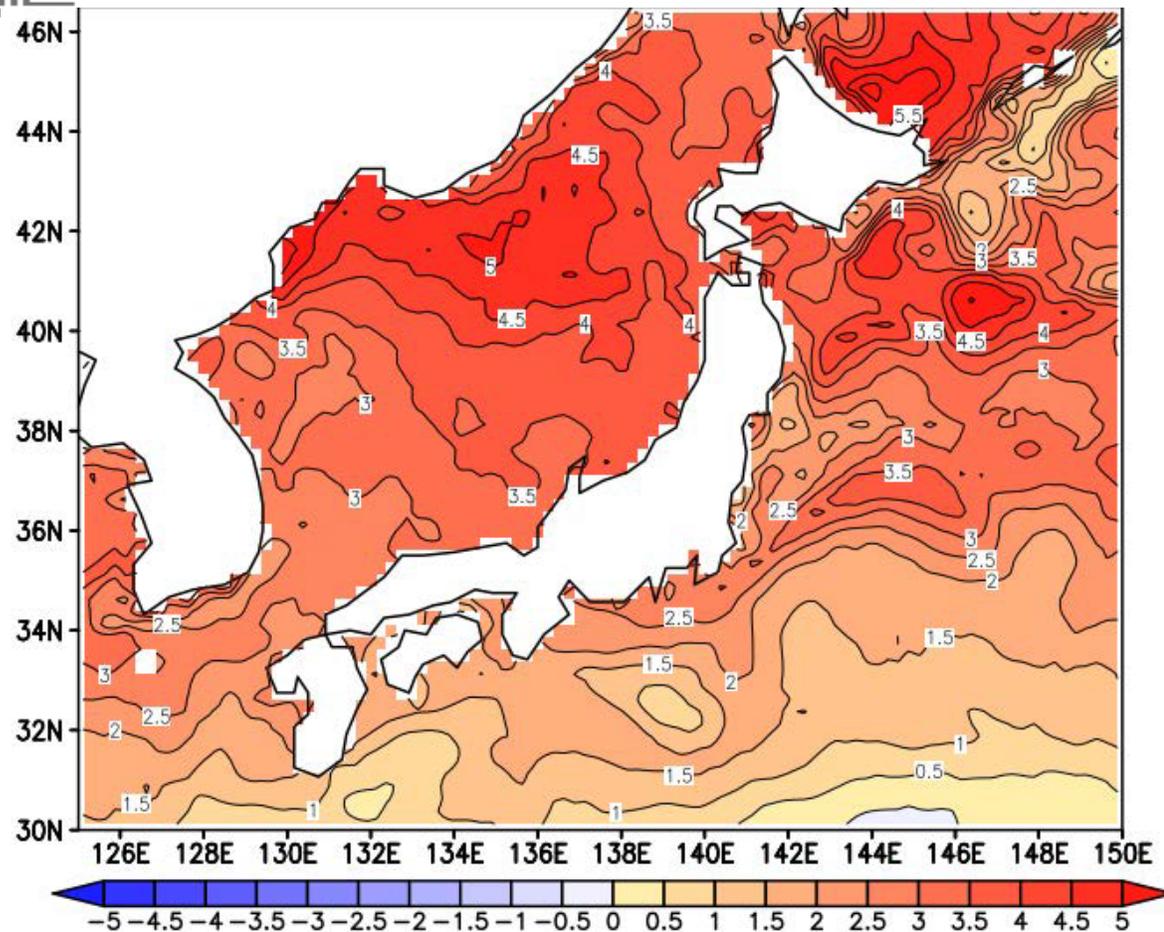


Snowfall event (after 1989)

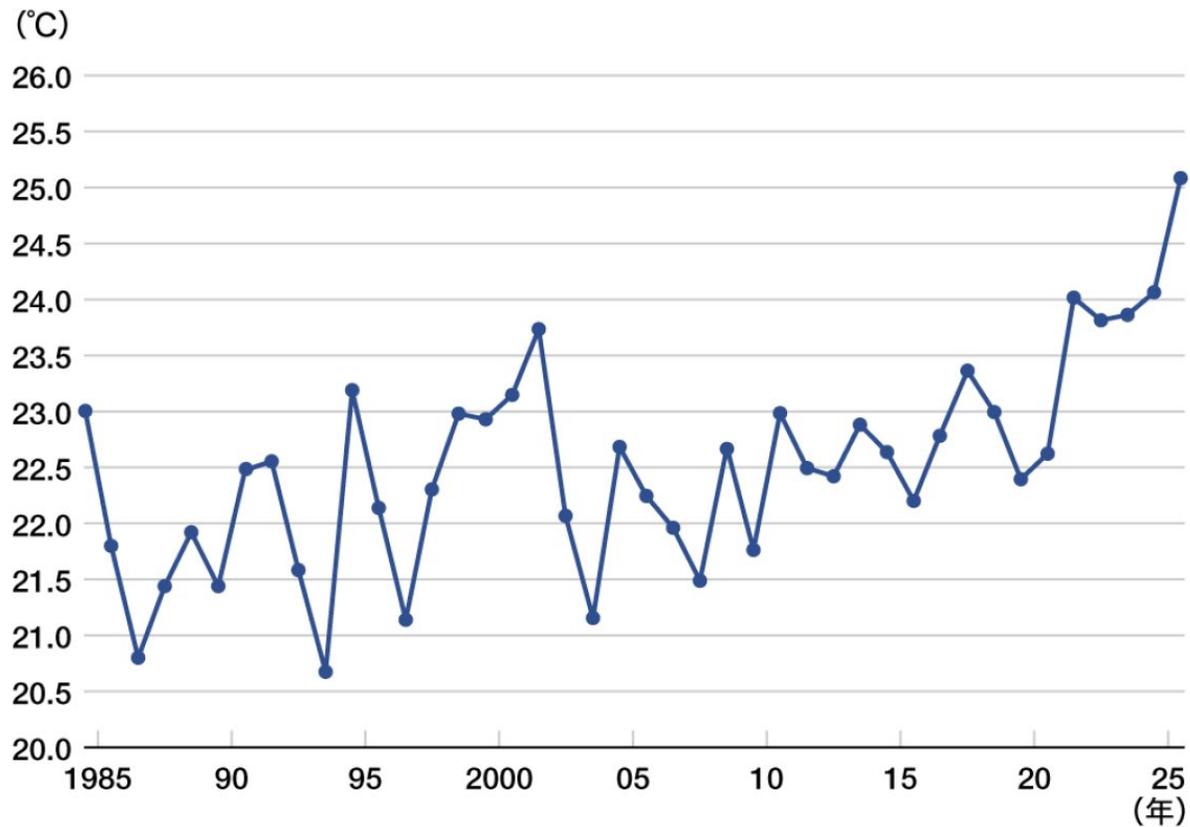




2025年7月の海面水温



日本周辺の7月の海水面温度の変化

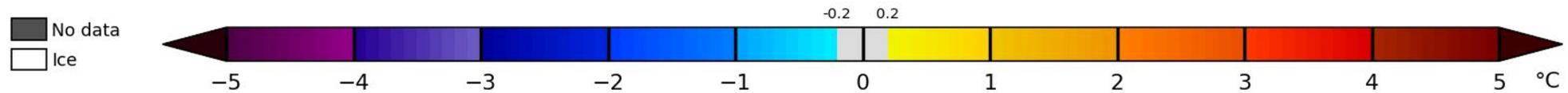
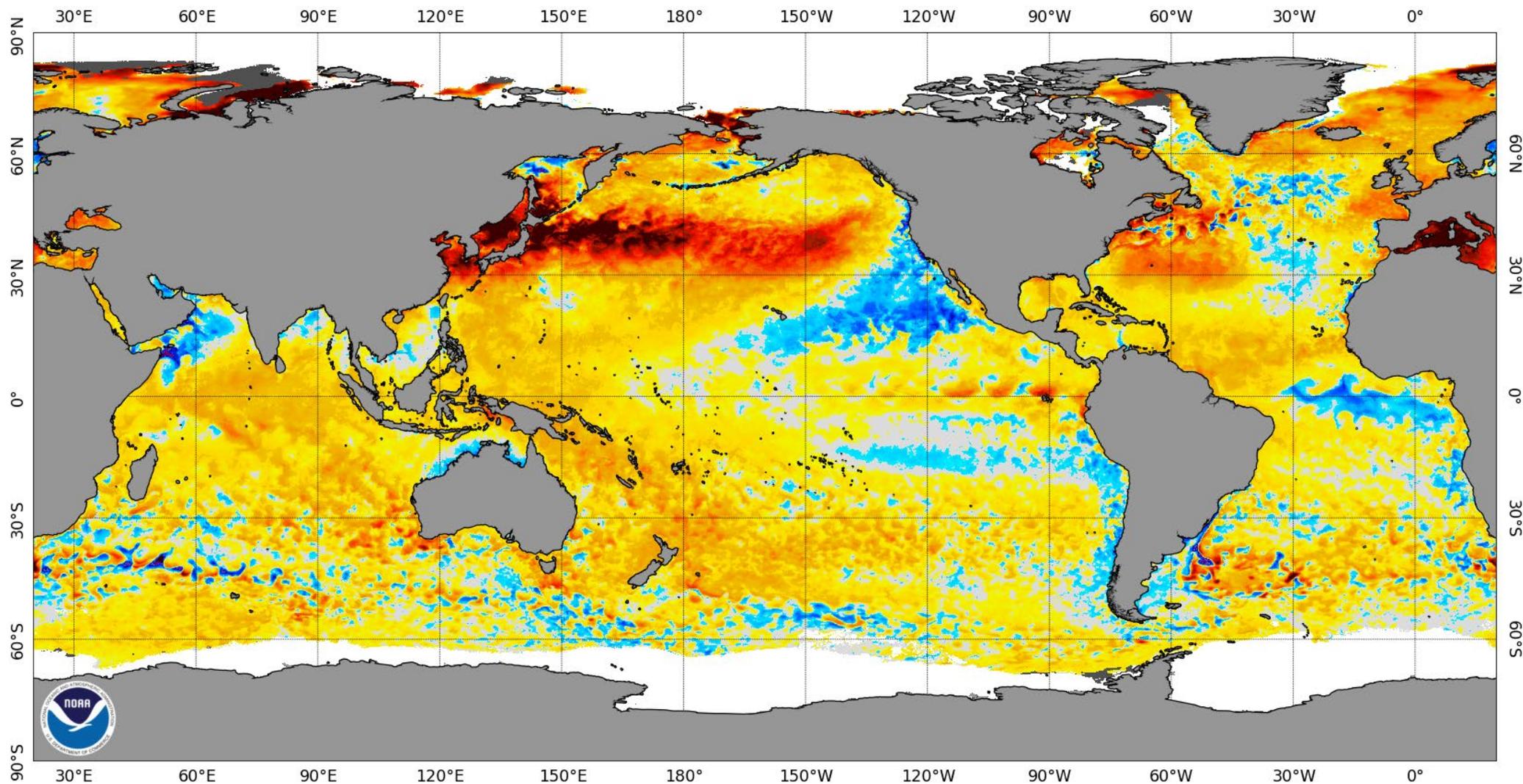


筆者資料よりnippon.com作成

nippon.com



NOAA Coral Reef Watch Daily 5km SST Anomalies (v3.1) 7 Jul 2025



通常の偏西風



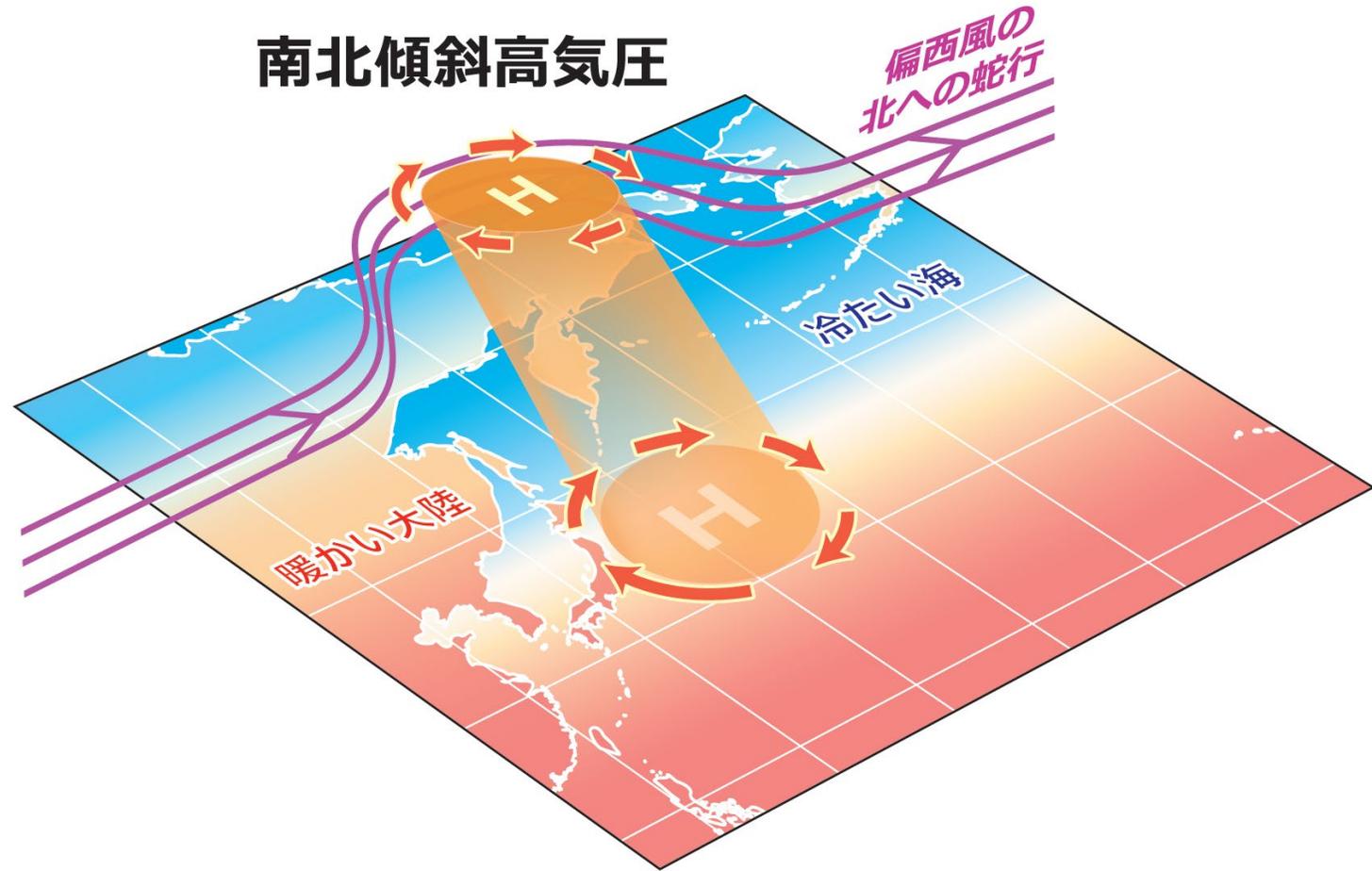
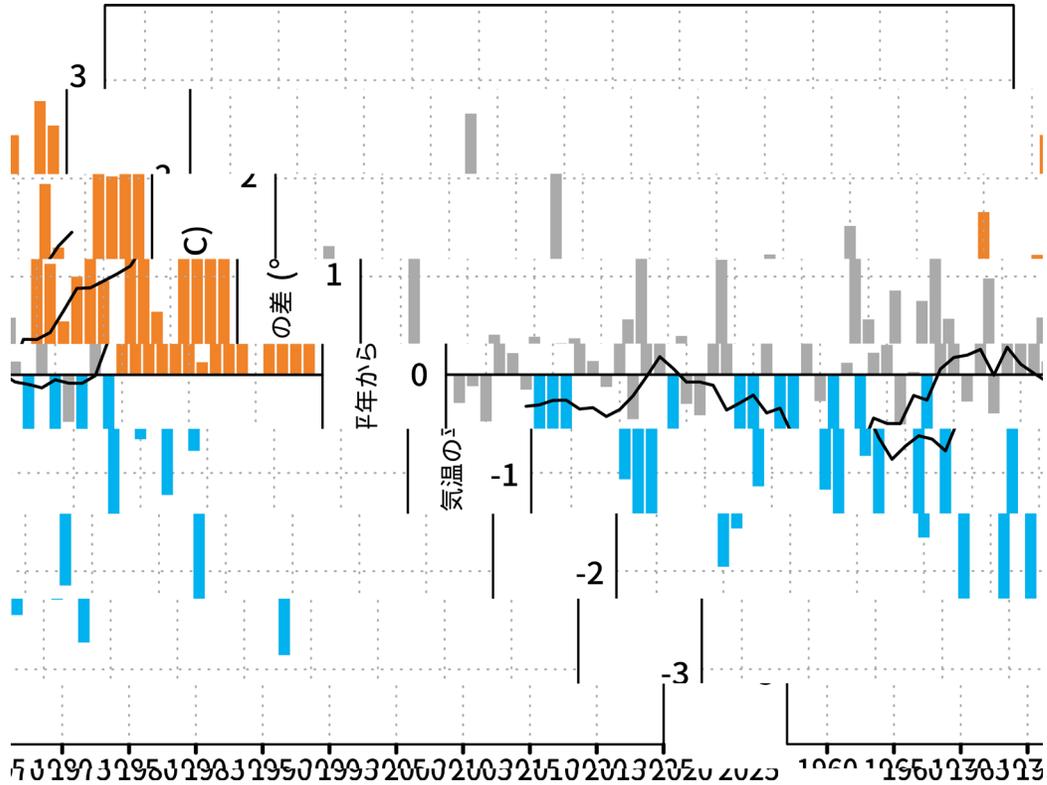
現在の夏の偏西風



偏西風の流れを表した図。上が通常の偏西風、下が現在の夏の偏西風の動き。

**「異常気象の未来予測」
(ポプラ新書、2025年、立花義裕著) より引用**

2010年以降の猛暑頻発・冷夏不発生は、気候のレジームシフトが一因 —温暖化に伴うレジームシフトが高気圧と偏西風蛇行を強めた—



【猛暑・豪雨・豪雪は人災】

- 日本では熱中症で毎年千人規模の人が命を失っている。風水害による死亡者の約10倍。
- 大災害と呼んでいいレベル。
- 猛暑災害は、「人災」でもある。一因が地球温暖化。
- 地球温暖化は二酸化炭素等の温室効果ガス増加が原因であることは疑う余地がない。
- 二酸化炭素を増やしているのは、私たち人類。
- 私たち人類は、被害者であり、加害者でもある。
・ 例えるなら自殺。

気候災害(40度の夏は人災)

- ❊ 地球温暖化に伴う異常な気象現象に伴う災害を「気候災害」と呼ぶ。
- ❊ 狭義の気象災害は、自然現象の激しい揺らぎなどで発生。発生自体を食い止めることはできない
- ❊ 人為(温室効果ガス増)によって発生する災害なのだから、人災の側面
- ❊ 気候災害は、温室効果ガスを削減することで、抑制可能。人為によって異常なのだから、一刻も早く、排出量を減らして、元の気候に戻すべき。

深刻化する人命・食料への影響

- ❊ 米価高騰を始めとする食料価格高騰が目の当たりとなった今、「**経済優先と脱炭素優先の二者択一問題**」が**間違い**であることに気づいた人が増えた。
- ❊ 脱炭素を放置した場合、世界の経済を悪化させる。数多くの研究論文がそれを指摘している。
- ❊ 「猛暑は人の寿命を縮める」という研究



各県の地学開講率

都道府県	高校数	判明校数	判明率 [%]	開設校数		開設率 [%]	
				地学基礎	地学	地学基礎	地学
北海道	293	251	85.7	115	18	45.8	7.2
青森	74	63	85.1	23	4	36.5	6.3
岩手	80	62	77.5	30	5	48.4	8.1
宮城	98	81	82.7	56	8	69.1	9.9
秋田	55	39	70.9	19	4	48.7	10.3
山形	60	48	80.0	18	4	37.5	8.3
福島	107	81	75.7	39	3	48.1	3.7
茨城	125	105	84.0	50	5	47.6	4.8
栃木	76	50	65.8	11	0	22.0	0.0
群馬	85	69	81.2	30	2	43.5	2.9
埼玉	220	181	82.3	108	27	59.7	14.9
千葉	194	171	88.1	121	66	70.8	38.6
東京	460	406	88.3	142	32	35.0	7.9
神奈川	256	222	86.7	81	26	36.5	11.7
新潟	111	104	93.7	32	5	30.8	4.8
山梨	44	29	65.9	9	2	31.0	6.9
長野	103	98	95.1	65	18	66.3	18.4
富山	53	48	90.6	22	1	45.8	2.1
石川	55	42	76.4	24	3	57.1	7.1
福井	34	29	85.3	16	0	55.2	0.0
岐阜	85	62	72.9	18	1	29.0	1.6
静岡	146	107	73.3	41	6	38.3	5.6
愛知	224	182	81.3	50	4	27.5	2.2
三重	79	66	83.5	24	2	36.4	3.0

滋賀	56	49	87.5	30	3	61.2	6.1
京都	99	88	88.9	57	11	64.8	12.5
大阪	274	227	82.8	134	23	59.0	10.1
兵庫	213	189	88.7	56	6	29.6	3.2
奈良	52	41	78.8	12	2	29.3	4.9
和歌山	47	36	76.6	22	4	61.1	11.1
鳥取	34	29	85.3	15	1	51.7	3.4
島根	46	35	76.1	8	0	22.9	0.0
岡山	90	58	64.4	5	0	8.6	0.0
広島	133	104	78.2	52	2	50.0	1.9
山口	80	70	87.5	20	3	28.6	4.3
徳島	36	22	61.1	15	3	68.2	13.6
香川	41	25	61.0	14	0	56.0	0.0
愛媛	70	55	78.6	34	10	61.8	18.2
高知	45	35	77.8	19	6	54.3	17.1
福岡	167	115	68.9	35	1	30.4	0.9
佐賀	46	40	87.0	9	0	22.5	0.0
長崎	79	48	60.8	13	0	27.1	0.0
熊本	75	45	60.0	19	4	42.2	8.9
大分	53	45	84.9	6	0	13.3	0.0
宮崎	53	25	47.2	1	0	4.0	0.0
鹿児島	90	74	82.2	34	8	45.9	10.8
沖縄	66	62	93.9	44	30	71.0	48.4
全国	5,062	4,117	81.3	1,798	363	43.7	8.8

木村 学 日本学術会議 より引用

気候危機問題を自分事にするには？

- ❊ 「地球のために我慢した生活をしましょう」は、絶対ダメ
- ❊ 「地球のために頑張りましょう」もダメ

気候危機問題を自分事にするには？

- ✦ 愉快的ことやオモシロイことは自発的になる。
- ✦ 楽しんで金になることは自発的になる
- ✦ 気象現象(異常気象)はオモシロイ！(「**気象を愛する人**」が増えると、温暖化が自分事となる)
- ✦ 二酸化炭素削減が楽しい！面白い！儲かる！
- ✦ キーポイント：**(おもしろい×得する)**

- 温暖化が日本を狙い撃つ！気候災害は、日本が世界一といっても過言ではない
- 異常気象がニューノーマルとなる日本の未来。それは**日本の国力をも弱め、国益を損ねる**
- 我々は、世界一異常気象に敏感であるべき
- 意識改革を世界に迫る意味でも、日本が脱炭素と気候変動適応分野の世界のトップランナーとなり、他国をけん引すべき
- 四季が美しい日本に戻そうではないか。だから、市民も政財界も、東京都も、それに向けた行動変容が求められる。強く豊かで美しい国、日本に戻すために

楽知ん
小冊子
パンフレット
Luctin Pamphlet
001

インタビュー

今の自分があるのは、
小学校の時に

仮説実験授業を受けたことにある

——どんと、横山先生のような先生に出会う人が増えるべきかな——

立花 義裕 (談)
TACHIBANA Yoshihiro

編集：宮地祐司



「今の自分があるのは、小学校の時に仮説実験授業を受けたことにある」

立花義裕(談)

NPO法人 楽知ん研究所

330円

